



東京都支部

日本大学通信教育部校友会

大江戸通信

第 81 号 平成 26 年 1 月 1 日・発行

東京都支部校友会／広報委員会編集部
本部校友会事務局:東京都千代田区西神田 2-7-10

連絡先:080-5032-14
Tel/Fax:03-3234-5858

発行責任者:金子栄輔
編集責任者:高木典章

リレー随想

日本一の富士山世界遺産に登録される

東京都支部・副支部長 富澤良光



2013年(平成25年6月22日)カンボジアは、ブノンペンで登録されたのである。富士山は「信仰の対象と芸術の源泉、心の原点」として世界に認められた。

日本列島に人が住み始めた時から富士山は信仰の山であった。縄文時代の草創期1万1千年前より富士山の山頂火口が激しく活動して現在の富士山の姿が8,000年前頃出来たと伝えられている。当時の噴火活動は激しく炎や噴煙を上げる「火の山」であった。その後、江戸時代宝永4年(1707年)山腹から噴煙が上がり、火山灰が100キロの広範囲まで降っている。それ以来、富士山は噴火せず今日では「休火山」と教えられている。

富士山は4段階を経て構成され、今日は最後の新富士であり標高3,776mです。その形態は、日本一高く南北44°、東西38°と、広大独立の山で頂上へ近づく程急斜面となり裾野は広大緩やかな傾斜で、その美的姿は特徴と言える。このような膨大な富士山にも国家として科学技術力を注いでも不可能な山体崩壊危機の問題がある。つまり西側に「大沢崩れ」頂上から1,570m下った付近まで裂け、最大幅500m、割れ目の深さ150mと観測されており、いつ噴火するかあるいは大地震が起こるか予想もつかぬ危機感を生じている。このように大きな問題を抱えている富士山ではあるが、日本人の古き時代より修行登山の山、富士講の人々でそのルーツは平安時代に遡り、江戸時代には最盛期を迎えられ、彼らによって富士山は拝する山から登る山へと信仰スタイルが変化した。また、文学・絵画・霊山・富士の神話伝説と日本人の生活文化の各方面へと偉大な意力が注がれ、その骨格体系が自然の中に創られたと思われる。

私は幸せなことに(1958年)夏、この富士山へ登山したのである。一泊二日の日程で5人で向かう。夜通し懐中電灯を片手に吉田口から広大ゆるやかな傾斜で真っ暗闇の熔岩が突き出した路面を一步一步と前進したが足元は非常に危険度が高い。1合目で夜明けを迎える。ご来光を頂上でのスローガンも懸命に頑張ったが断念なことになった。七合目直前で女性が頭痛と息切れを発し、高山病と断定された。下山か登山続行かで決断を余儀なくされた。持参の酸素ボンベと休息を与えるためにも全員泊の決断し、快復を富士山の神に無事を祈願した。3日目は身体の様子を見ながら無理せず八合目でご来光を拝することが出来たのである。

外面からの富士山は美しくやさしく雄大かつ荘厳な姿であるが、簡単に登山はさせてくれない。危険がそちこちに隠れておることに改めさせられた次第である。世界遺産となった日本一の富士山は国民すべてが崇拝する唯一の自然体の山であり、外国人もワンドラブル!!。

私は富士登山4年後に日本大学通信教育部の門をたたいた。当時の学生たちは、向上心を抱き世間では通用せぬことを前提に学力向上を目的として、ただ卒業されたことが少なくない。各自寝る時間を省き予定表をもとに孤独感に駆られながら最後までやり遂げる根性、精神力を養い、努力して卒業証書を手にするを目的に互いに協力し合いその努力をした。幸も不幸も心からこれは現物と感謝と引き換える打算的なことでなく、常に取り越し苦労は止め、感謝の念を抱くことのできるようになる。当時入学生は驚くほど多いのに対し、卒業生は10%に過ぎず非常に少なく、通信教育部校友会ではその対策として、全国支部にて第一に脱落防止運動を展開し、成果を上げたのであった。すでに時代も著しく変化し、入学生の約60%は資格を得るための目的で、卒業後は校友会に関心を示さなくなっている。このことは非常にさびしい限りである。今後の通信教育部校友会の活動目的を学生側と心の疎通の機会を重なるしかなく、学校側には中途退学者を防ぐために協力することです。

〈次ページへ続く〉

もくじ

リレー随想……1

支部・本部・日本大学
校友会だより
……2

座談会……3～9

新年名刺広告……
……10～11

関東ブロック総会
in 千葉
編集後記・他……12

我が日本大学は創立 130 周年を 2019 年に迎えます。学祖・山田顕義は、幕末の 1844 年長州藩(現・山口県萩市)に生まれました。政治家・教育者として明治 15 年(1882 年)皇典講研所を設立され、運営に賛助していました。総裁有栖川宮熾仁親王の逝去後、設立・発展に尽力した山田顕義は、明治 22 年(1889 年)皇典講研所所長の就任、これを改革の目的として、日本の人種・慣習・風俗言語など国家成立の要因、すなわち国体を明らかにすることを目的と同時に日本法律学校の前身が山田顕義によって創立された。創立に際し日本国名の『日本』を商標とされた。世界遺産となった「日本の富士山」の如く、「日本大学」も教育理念・目的の「自主創造」を堅持し、かつ「教育力日本一」を目指し、総合力を結集団結し、総合大学として「世界遺産」と認定の富士山のように頑張ろう。

今回は東京都支部・川熊長子さんにバトンタッチします。よろしくお願いたします。

＜編集部では「リレー随想」にご投稿いただける方を募集しています。ご応募お待ちしております。＞

日本大学校友会

全国校友大会が昨年 11 月 11 日、東京都文京区の東京ドームホテルで開かれ、校友会会長の田中英壽理事長、大塚吉兵衛学長ら約 850 人が出席した。

今回は一昨年 12 月の総選挙、昨年 6 月の都議会選、7 月の参院選の当選祝賀と、山崎正昭氏(71 歳、1965 年法卒)の参院議長就任祝賀を兼ねた。生活の党の小沢一郎代表(71 歳、1967 年大学院法学研究科入学)ら国会議員と都議会議員計 26 人が参列した。

田中校友会会長は、校友会台湾支部が設立 10 周年を迎えたことに触れ「校友の輪が広がっている。皆さんの協力に感謝したい」とあいさつ。大塚学長は来賓代表として「学生が卒業した時に、思い出に残るような教育に取り組みたい」と述べた。公務で欠席した山崎氏は「日本大学と校友会のますますの発展と活躍を願う」とのメッセージを寄せた。

通信教育部だより

■通信教育部の夏期スクーリング 6261 人が参加 猛暑の中全国各地から集結



スクーリング風景

通信教育部の夏期スクーリングが 8 月 3 日から始まった。18 日までの 3 週間で 143 講座を開講した。猛暑の中、全国各地から集まる受講生は 6261 人(7 月 29 日現在)。教員と対面する中でしか得られない「何か」を学び取ろうと熱いまなざしで授業に臨んだ。授業は通信教育部 1 号館や法学部などで実施された。

通信教育部の学友会(小河原睦会長=文理・哲 4)が中心となって 3 日間開催する集夏祭のテーマは「懸け橋」。学友会、通教生、大学の三つを結ぶ懸け橋になってほしいという思いを込めた。小河原会長は「集夏祭を通して、学生同士の交流だけでなく、学術面でのサポートができれば」と話した。初日の 8 月 6 日は、学生同士の交流を深めるため東京湾を周遊する屋形船で懇親会が開かれた。9 日には法学部 1 号館 1011 講堂で、通信教育部の山岡洋講師が英語のリスニング技術の向上をテーマに「英語の発音・ふしぎ発見!」と題し講演が行われた。最終日の 13 日にも都内の飲食店での懇親会が開催された。

通信教育部・本部・東京都支部だより

1. 平成 26 年度通信教育部・本部主催の新年会は 1 月 25 日・日本大学・桜門会館で開催される。東京都支部からも多数の参加を期待しています。
2. 来年度の関東ブロック総会は栃木県支部の主催で秋に開催を予定している。詳細は本年度 5 月に開催される本部総会で発表される。
3. 新しい事務局員決まる。従来校友会事務局は八馬珠代さんが月・火・金曜日に常駐していたが、本年度より火曜日は新しく小川雄さん《男性》が勤務することになった。八馬さんは月曜日と金曜日の 2 日間になる。事務局は月・火・金の 10 時から 18 時まで開いています。
4. 通信教育部は本年 9 月期生より、市ヶ谷に新設される校舎で授業が開始される。それに伴い校友会事務局も市ヶ谷に移転する予定である。
5. 昨年 12 月に開催された東京都支部忘年会に往復はがきでご案内を差し上げたが、約 1/4 の会員の皆様からご出欠のご返事がなかった。ご面倒でも届いたかどうかのご返事は戴きたいのでよろしくお願いたします。

第34回 平成25年度関東ブロック総会in千葉 開催される。

「関東ブロック総会」は、台風一過の絶好の日に恵まれ、千葉県の銚子ホテルで開催された。関東一都七県から会員が参集し旧交を温めた。本年は栃木県支部の主催で開催される予定である。多くの校友の参加をお待ちしています。

平成25年度 日本大学通信教育部 校友会 第34回 関東ブロック総会 千葉県大会



総会前の校歌斉唱



歓迎の挨拶をする
目黒千葉県支部長

銚子は醤油の町。観光は
「ヤマサ醤油」の工場見学



☆☆☆☆☆ お気楽編集後記 ☆☆☆☆☆

初富士の 悲しきまでに 遠きかな (山口青邨)

白い清らかな山容が、新春の曙光に映えて美しい。その姿が遠く小さなものであっても、私たちはおのずと心引き締まるものを覚える。元日の朝ともなればなおのことであろう。本号の巻頭で富澤良光氏がその富士山に寄せての温かな感懐を述べておられる。ルー随想の初回を飾るまことにめでたいスタートとなった。

昨年の夏、校友会と学友会それぞれの有志が参集して「人垣の輪を築こう」をテーマに座談会を開催した。OBと現役学生によるこのような試みの収録は、これまでも類がないのではないかと互いの想いのたけをぶつけ合った2時間に亘る激論の跡をじっくりとお読み下さい。

支部会報「大江戸通信」には皆様の名刺広告を掲載させていただいております。1コマ 3,000 円です。現在本誌は東京都支部をはじめ全国ブロック会を通して全国にも配布をお願いしており、発行部数は約 1,000 部です。皆様のお名前前で紙面を飾らせて下さい。お申込みお待ちしております。

通信教育部の移転にともない、次号からは市ヶ谷の新事務局からの発行となる。気持ちを新たに叶うかぎりの「お・も・て・な・し」満載の紙面を提供していきたいと思う。
(編集部)